

広報

かみす

2025年
9/1・15
No.443

Kamisu public relations

折込 まなびアイかみす

神栖ディスカバリー  File 27

特集 世界を結ぶ フライングディスク

WFDF2025アジア・オセアニア
アルティメット選手権大会開幕

フライングディスク競技の国際大会が神栖市で開幕します。
競技の魅力と観戦のポイントを紹介します。
(写真は日本代表村岡彰文選手)

Pick up

9月1日は防災の日 P6~7
かみす舞っちゃげ祭り..... P9
秋の集団検診..... P12



市公式
LINEは
コチラ



広報かみすが動き出す

【COCOAR】アプリをダウンロード
し表紙にスマートフォンをかざし
てください。詳しくは16ページ



【COCOAR】





神栖ディスクバリー

File 27

特集

世界を結ぶフライングディスク

WFDF2025アジア・オセアニアアルティメット選手権大会開幕

9月3日から7日にかけて、フライングディスク競技の国際大会が、海浜運動公園と矢田部サッカー場のほか、民間グラウンドを使って開催されます。世界のトップ選手たちは、どんなプレーを見せてくれるのでしょうか。今回は、競技の魅力や国際大会の楽しみ方をご紹介します。

日本フライングディスク協会理事の齋藤さん

日本代表の村岡選手

まるでフリスビーみたい？

「フライングディスクって聞いたことがないけど、どんなスポーツ？」と戸惑う方も多いのでは？ でも実は、ずいぶん前に大流行したフリスビーと基本は同じです。もともとフリスビーは商品名で、その後スポーツとして進化して12種目(世界公認11種目と日本公認1種目)が生み出され、1984年からそれらを総称して「フライングディスク」と呼ぶようになりました。フライングディスクの最長飛距離は338メートル、最高時速152・9キロ、最長滞空時間16・72秒などワクワクする数字が並び、ギネス世界記録にも認定されています。

国際大会でおこなわれる競技は、「アルティメット」と、同時開催される「ガッツ」です。今月開催のWDF2025アジア・オセアニアアルティメット選手権大会と世界ガッツクラブチーム選手権大会では、中国、台湾、フィリピン、マレーシア、オーストラリア、ニュージーランド、グアム、クウェートなど13の国と地域から、約1200人の選手が神栖市に集結し熱い戦いを繰り広げます。



昨年、矢田部サッカー場でおこなわれたU21アルティメット選手権大会関東地区予選



日本フライングディスク協会の中村さん(左)と湯川さん(右)

日本では、以前は大学でアルティメットを始める人がほとんどでしたが、2012年に中学校の学習指導要領に採用され、現在は小・中・高校で体験する児童生徒がどんどん増えています。また神栖市は、大学のアルティメットチームの合宿地として人気があり、交流試合や大会も開かれるなど、フライングディスクと縁があるまちなのです。

小学校で体験教室！

国際大会まであと2カ月に迫った

7月3日、今年創立100周年を迎えた軽野東小学校でアルティメット体験教室が開催されました。講師は、日本代表選手の村岡彰文^{あきふみ}さん、元日本代表の齋藤勇太^{あきふみ}さん(日本フライングディスク協会理事・事務局長)、湯川冬実さん、中村真優子さんの4人です。子どもたちは選手らを相手に、フライングディスクを投げたりキャッチしたりする基本の動きを体験。空中で角度やスピードが変化すると、走って追いついても手の平からポロリとこぼれ落ちてしまうこ

とがあります。順番を待つ子どもたちは、挑戦する友達に声援を、うまくキャッチできた友達には大歓声を送っていました。

その後、教室で試合の映像を見て、アルティメットの特徴を教わりました。興味を持った子どもたちが次々に手を上げ、質問が止まりません。講師の皆さんが丁寧に答えてくれて、みんな大満足の様子でした。

村岡さんに軽野東小学校の子どもたちの印象を尋ねると、「僕の中では、とくに低学年の子たちはにぎやかなイメージがあったんですけど、みんなきちんと整列して、静かに順番を待って、人の話をしっかり聞いて、誰一人勝手に投げたり喋ったりする子はいませんでした。本当に礼儀正しくてびっくりしましたね」と、うれしい言葉をいただきました。

誰でも達成感が味わえる

体験教室の終了後、齋藤さんと村岡さんから話を聞きました。齋藤さんは、フライングディスクには生涯スポーツとしての魅力があると言います。「年齢、性別、障害の有無を問わず、運動が苦手な人でもすぐその場でプレーすることができ、達成



軽野東小学校アルティメット体験教室(7月3日開催)

子どもたちは体育館でアルティメットの基本となる、投げる・走る・キャッチするを体験。4人の講師のもと、夢中になってフライングディスクを追いかけました。

感を味わえます。例えば飛距離を競う競技には0歳から100歳超まで出場できるんですよ」。ちなみに、0歳男子が投げた0・23mが日本記録として認定されています。全12種目の中に、自分が「挑戦したい!」と思える種目がないか、見つけてみるのも面白そうです。

村岡さんは、海外の友達をつくりやすいことが魅力だと言います。「カナダでチームメイトだった選手と、最後に、また決勝で会おう!」と言葉を交わして別れ、偶然にもある大会の決勝戦で、相手はアメリカ代表、自分は日本代表として対戦したことがあります。まるでドラマみたいでグッときましたね。お互いに違う文化で生きていますが、同じ目標に向かって高め合っている感じが僕は好きです」

日本代表にならなくても出場できる国際大会もあるとのこと。フライングディスクを通して、世界中に友達ができるかもしれません。

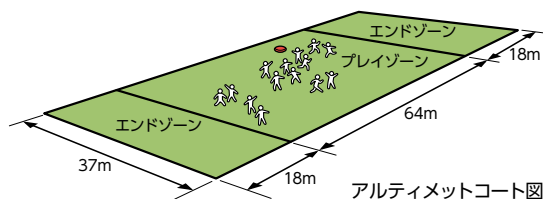
アルティメットとは

さて、今回の国際大会で村岡さんが出場するアルティメットとはどういう競技なのか、ご紹介しましょう。

今回の国際大会について語る村岡さん(左)と齋藤さん(右)



1チーム7人でパスをつなぎ、決められたエリア内でキャッチすると得点が入ります。フライングディスクを使ったアメリカカンフットボールとも表現されますが、大きな違いが二つあります。一つは身体接触が禁止されていること、もう一つは審判を置かずセルフジャッジ制をとっていることです。この審判がないということが最大の特徴で、選手同士が話し合って判断しながら試合を進めていきます。対戦相手を信頼し、フェアプレーに徹することが求められるスポーツです。

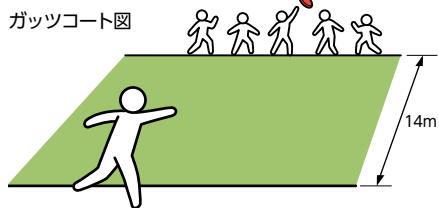




「アルティメットは身長が高いとパスが通りやすいため、比較的体の大きい北米やオセアニアが有利で、身長2メートルを超える選手もいます。ただ、日本は足の速さや正確なパス回しなど戦術面を磨き、世界大会で優勝するくらい強くなりました。海外の選手が、日本の戦術を真似するようになったはずです」

もう一つの競技であるガッツは、1チーム5人が相手チームと向かい合っており、オフenseチームの1人がフライングディスクを全力で投げ、ディフェンスチームがキャッチに成功すればディフェンスチームに得点が入ります。単純なルール

ガッツコート図



のように、
すが、「14メー

トルと野球のマウンドより近いところから、時速130キロで飛んできます。しかもボールと違って縦変化、横変化が大きく、それを片手でキャッチしなければなりません」と、実際は迫力満点な競技です。

神栖は世界的な好立地

国際大会の開催地が神栖市に決まった理由は、成田空港や東京からのアクセスが便利なこと、グラウンドがたくさんあること、宿泊施設が多いこと、市がスポーツツーリズムに力を入れていることなど、好条件がそろっていたからです。齋藤さんは、「これだけ素晴らしい立地ですから、アジア・オセアニアから初めて神栖に来た選手は、必ずまた神栖でプレーしたいと思うでしょう。今回の大会だ

けでなく、今後もアジア・オセアニアでおこなわれる大会の中心地になり得ると思いますし、ぜひ、そうなるほしいですね」と、神栖市の可能性を語ってくれました。

さて、国際大会を楽しむコツは、まず世界中から集まった人たちがアルティメットでつながる一体感を満喫すること。競技中は、拍手や声援を送るとともに、セルフジャッジの様子も見逃せません。試合終了後は、選手たちに握手やサイン、記念撮影をお願いすることもできます。

選手同士、リスペクトした相手とユニフォームを交換するシーンが見られるかもしれません。交換したユニフォームをどうするか村岡さんに聞いてみると、「早ければ翌日の練習の時に着ます。大切にしまひ込んで、また日本代表になって、また交換すればいいんです」と意外な、そして頼もしい言葉が聞けました。

さあ応援に出かけよう！

最後に、神栖市の皆さんへのメッセージをいただきました。「何か熱中できるものが見つかったら人生や生活が明るくなります。それがフライ

ングディスクとの出会いだったらうれしいですし、今回の国際大会が一つのきっかけになれば、なおうれしく思います」と齋藤さん。その国際大会に挑む村岡さんは、「日本代表になりたくても選ばれなかった選手がいる中で、フィールドに立つ自分たちがしっかりと役割を果たさなければなりません。やるからには勝たないといけない使命感があります。9月7日の決勝戦に進んだら、海浜運動公園で僕と握手しましょう！」と気合い十分です。

フライングディスクはオリンピック競技への採用も目指しており、目標は2032年のブリスベンオリンピック（オーストラリア）とのこと。もし採用されれば、一気に注目の的になりそうです。そんな可能性を秘めた競技を間近で観戦し、世界の一流選手と触れ合えるチャンス。みんなで応援に出かけましょう！

WFDF2025
アジア・オセアニア
アルティメット選手権大会

同時開催
WFDF2025
世界ガッツクラブチーム
選手権大会

日程
9月3日(水)～7日(日)

場所
海浜運動公園・
矢田部サッカー場 ほか

主催：世界フライングディスク連盟

※詳しくは日本フライングディスク協会のホームページをご覧ください